

はじめに

私は、市長就任以来、住民自治の原則に立ち、「市民のための市政」を基本に、市民の皆様の信託にこたえるべく、全力で市政運営に取り組んでまいりました。

就任当初は新型コロナから「市民のいのち、暮らし、仕事を守る」ことを最優先に感染防止対策と市民生活や地域経済を支える施策に全力で取り組んでまいりました。

また、待機児童ゼロをはじめとした子育て支援の充実のほか、観光消費額の拡大など地域の稼ぐ力の向上、「書かない窓口」など ICT の活用による市民サービスの向上と業務の効率化等、各種施策を積極的に展開してまいりました。

一方、急速な人口減少や ICT の飛躍的な発展、相次ぐ自然災害など、私たちの暮らしを取り巻く状況は大きく変化してきております。とりわけ、長引く物価高騰は、市民や事業者の暮らしに直結する課題であり、これまでもスピード感をもって、市民生活や中小企業者等の事業活動を支援し、消費喚起・下支えを行ってまいりましたが、引き続き市政の最重要課題として取り組んでまいり所存でございます。

こうした時代の潮流を的確にとらえ、この 4 年間の成果をより実り多きものとしていく中で、すべての方々に住みたい、訪れたいと感じていただける「選ばれるまち」を目指し、本市をさらなる成長へと導き、次の世代に引き継いでいくため、2 期目のマニフェストを作成いたしました。

その第 1 は、「若い世代、子育て世代に選ばれるまち」です。

若い世代に選ばれるまちであるために、まずは稼ぐ力の向上に取り組みます。若者が、地元で働きたいという希望が叶うよう地域の稼ぐ力を強化するとともに、魅力的で安定した雇用場を確保するために、地域雇用の重要な受け皿である中小企業について、ICT の導入促進や新たな事業展開の支援、地域産業の生産性向上に取り組むとともに、スマート農業の推進や農林水産業の収益性向上に向けた支援を充実してまいります。

また、妊娠、出産、子育てへの支援については、引き続き各面から取組を推進するほか、1 期目に達成した待機児童ゼロを継続するとともに、子どもの医療費については、全額助成を中学生までに拡充し、医療機関での窓口負担をなくします。また、早い段階から健康意識を高めるプレコンセプションケアや子どもが安心して遊べる遊び場の認定に取り組めます。

こどもまんなか社会の実現に向けては、昨年 5 月に制定した「こどもの未来応援条例」に基づき、子どもや若者が意見を表明できる機会を創出するほか、子どもの視点に立った居場所づくりを進めます。また、すべての子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、等しくチャンスを得て、夢と希望を持ち、健やかに成長していける社会の構築を目指し、子ども政策の推進に全力を傾注してまいります。

若い世代に本市を選んでいただくためには、魅力ある環境の創出が重要であり、スタジアムの整備に向けて引き続き、県や民間を含めオール鹿児島で取り組むほか、スケートボード等専用施設の整備など、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備し、スポーツを中心としたエンターテインメントの促進を図ります。

引き続き男女共同参画の取組を積極的に進めるとともに、アンコンシャスバイアスの見える化など、若者や女性が活躍できる環境の整備に取り組んでまいります。

第2は、「高齢者など多くの世代から選ばれるまち」です。

人生100年時代を見据え、高齢者が主役のまちづくりを進めます。

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けることができるよう、高齢者の生きがいくつりと社会参画の促進や、安定的な介護サービスを提供できる体制を確保するとともに、認知症の人やその家族を社会全体で支える都市としての宣言を行います。

子どもや高齢者、障害者を含むすべての人々がそれぞれの役割を持ちながら支え合い、地域、暮らし、生きがいを共に作っていく「地域共生社会」を推進し、すべての人が幸せや豊かさを実感できるウェルビーイングなまちを目指します。

また、急速なICTの進展に伴い増加するインターネット差別や誹謗中傷への対策、だれもが安全に楽しめる公園の整備を進めます。

能登半島地震を教訓として、地域防災計画の見直しを行うなど、ハード・ソフト両面から大規模災害に備えた強靱なまちづくりを着実に推進するほか、桜島火山防災研究所を設置し、「大規模噴火でも犠牲者ゼロ」に向け、火山防災トップシティの実現に向けた取組をさらに加速させ、選ばれる安心安全なまちを目指します。

第3は、「ワクワクする世界中から選ばれるまち」です

「選ばれるまち」は、「訪れる人の感動と暮らす人の幸せをつくる」視点が重要です。

中心市街地の活性化やまちの回遊性の向上を図るため、鹿児島中央駅や天文館などの交流拠点をつなぎ、歩いて楽しめるまちづくりを推進するほか、桜島や甲突川河畔、風光明媚な海岸線など、本市のオンリーワンの観光資源を生かし、国内外から選ばれるまちの魅力を高めます。

自然や歴史、食や文化を生かした体験型観光の充実を図るとともに、国内外の交流都市の魅力を市民とともに楽しめるイベントを開催するなど、ワクワクする体験を増やします。

DMOによる戦略的なプロモーションを展開するほか、本市の特産品等のブランド化や特産品等を直接販売するECサイトを運営するなど、国内外に向けて鹿児島の魅力を発信するほか、海外からの観光客誘客に対応できる人材の育成や働く外国人の活躍を支援します。

第4は、「選ばれる持続可能なまち」です

豊かな自然や都市環境を次世代に引き継いでいくため、廃棄物の減量化や資源化を進め、循環型社会の構築を図るとともに、「ゼロカーボンシティかごしま」の実現に向け、環境にやさしいまちづくりに取り組みます。

安心安全で暮らしやすい住環境の構築を図るため、空き家の適正管理や有効活用を促進するとともに、子育て世帯から高齢世帯まで多様化するニーズに対応する市営住宅の再生を進めるほか、交通事業者等と連携し地域公共交通のネットワーク再構築に向け取り組むなど、持続可能なまちづくりを進めます。

最後に

現在、我が国では世界に類を見ない急速なペースで人口減少・少子化が進行し、こうした状況が続くことで労働力人口や消費市場の縮小など、地域社会に深刻な影響を及ぼすことが危惧されています。

本市がこうした人口減少時代を乗り越え、将来にわたって活力を維持していくために、安心安全に生き生きと暮らせる環境づくりや充実した都市機能、魅力あふれる観光資源など、多彩な魅力をさらに磨き上げ、国内外への効果的なプロモーションを展開することで、子育て世代や若者をはじめ、すべての方々が、“住みたい”“訪れたい”と感じる「選ばれるまち」の実現に向けて邁進してまいります。